

研究課題「StageIV胃癌に対する Conversion surgery の実施状況を調査する 後ろ向き研究」に関する情報公開

1. 研究の対象

2009年1月1日から2019年12月31日の期間に名古屋大学医学部附属病院において、StageIV胃癌と診断され、化学療法を行った方。

2. 研究目的・方法・研究期間

目的：

StageIV胃癌と診断された患者さんの予後は不良とされ、その治療は化学療法（抗がん剤治療）です。近年、化学療法がよく効いた結果、腫瘍をすべて切除できる可能性のある患者さんに対して行う手術（Conversion surgery）が長期生存に寄与する可能性が指摘されています。しかし、その治療成績についての大規模なデータはありません。

本研究の目的は StageIV胃癌と診断されて化学療法を行った症例を調査し、Conversion surgery の実施状況、治療成績、生存に寄与する因子を解析することです。

方法：

診療録やデータベースより、化学療法を受けられた患者さんの診療情報を用いて行います。予定している評価項目は以下の通りです。

Conversion surgery 施行割合、全患者の3年生存割合、Conversion surgery 症例の3年生存割合、治癒切除割合、治癒切除症例の3年生存割合、StageIV胃癌細分類別の conversion surgery 施行割合、StageIV胃癌細分類別の3年生存割合、術中術後合併症、組織学的奏効割合、術前画像による奏効割合、生存に寄与する因子の解析、等。

研究期間：

研究許可日から～2025年12月31日までを予定しています。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：

カルテ番号、病歴、性別、年齢、身長、臨床検査所見、化学療法および放射線療法の治療内容、画像検査所見、手術治療歴、病理学的所見、手術合併症情報、転帰等。

なお本研究において新たに患者さんより採取する検体、試料はありません。

4. 外部への試料・情報の提供

なし

5. 研究組織

名古屋大学医学部附属病院・医療機器総合管理部・教授・藤原道隆
名古屋大学大学院医学系研究科・消化器内科学・病院講師・古川和宏
名古屋大学医学部附属病院・化学療法部・病院准教授・前田修
名古屋大学医学部附属病院・消化器外科一・助教・宮田一志
名古屋大学医学部附属病院・消化器外科二・病院講師・田中千恵
名古屋大学医学部附属病院・消化器外科二・講師・神田光郎
名古屋大学医学部附属病院・消化器外科二・病院助教・清水大
名古屋大学医学部附属病院・消化器外科二・医員・中西香企

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には提供していただいた情報や、試料に基づくデータを結果から取り除くことができない場合があります。なお、公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

実務担当者：中西香企

名古屋大学大学院医学系研究科・消化器外科学・医員

〒466-8550 愛知県名古屋市昭和区鶴舞町 65 番地

TEL(052)744-2250 FAX(052)744-2252

研究代表者：

名古屋大学大学院医学系研究科・消化器外科学・教授・小寺泰弘